

# axis news

アクシスグループ

# 6

2022

## COLUMN

体験談！  
後継者のビジョンはどのように作られるのか



### 知りたいあれこれ Q & A

No.34 「2022年のIT補助金はパソコンも対象に！」

今月のアクシススタッフ

前月配信LINEトピックス

# COLUMN

体験談！  
後継者のビジョンはどのように作られるのか

columnは、私が「日々お客様と接している中で感じたこと」「自社の経営について考える中で感じたこと」をコラムという形でご紹介させて頂く新しい企画です。

ぜひ、コーヒーを片手に気楽にご一読ください。



コラム執筆

アクシスグループ 代表 川人 広平



 axis talk



new

体験談！  
後継者のビジョンはどのように作られるのか



動画視聴はこちらから！  
これまでの配信動画もご覧頂けます！

Q.

## 後継者のビジョンはどのように作られるのか？

今回は、2022年5月20日にTwitterで投稿した「後継者のビジョンはどのように作られるのか？」というテーマでお話したいと思います！



川人広平 @axiskawahito - 5月20日

社長の息子は方針がない、意思がない、頼りないというのはよく聞く



実体験からすると、ある程度裁量を与えられ、自分で小さな意思決定から始めて成功したり失敗したりして大量の細かな仮説が検証されていき、徐々に方針や意思が固まってくる

そんな環境無しに方針や意思を持ってと言っても難しいと思う



「後継者である社長の息子には方針がない、意思がない」というお話をお客様の会社に勤めている従業員さんと社長さん自身から聞くことがあります。それに対して私は、「ある程度の裁量、立場、権限が揃う環境が無いうちからはっきりとした方針を求めるのはムリではないか」と思うわけです。

方針というのは誰もが初めから持っているものではありません。後継者が自分なりに仮説をもつてチャレンジを重ね、大小様々な気づきを得て固めていくものです。チャレンジが不十分なら「方針をもっていないからダメだ」と決めてしまふのは難しいのではないのでしょうか。

## 先代の受け売りでも与えられた「裁量」と「権限」

私は2019年1月に入社し、5月に代表社員になりました。新卒では、業務内容は異なりますが一応会計事務所に入り、現場経験もありました。ただ自分の意思や語るものはまだ無く、当時を思い返してみても完全に先代の受け売りでした。父親が懸念しているコンサルタンの方から「君はどんな会社を創っていくしたいのか？」と聞かれた時も、うろたえながら先代の受け売りで「代行とか…」と答えていました(笑)

そんな私が、どのようにして先ほどのツイートの考えに至ったのかということですが、先代の受け売りから始まったものの、裁量と権限は与えられたわけですね。もちろん何でも好き放題にしてしまうと危険なので、先代と相談しながらです。それでも、余程外れたことでなければ自由にさせてもらいました。その中で取組んだことのひとつ

が、当社公式LINEでの情報発信です。公式LINEでは助成金、補助金、融資制度などの情報を無料で配信していますが、そもそも始めたきっかけは私の思いつきです。裁量を与えられたからには「多くの方が求めているようなこと」や「あったら良いなと思うもの」を始めたという思いがありました。今では登録してくださった方々からロコミが広まり、当初の想像を超えて1600人以上の方に登録していただいています。

そしてもう一つは、趣味としてこのニュースレターにコラム掲載を始めました。会計事務所のニュースレターと聞くと「〇〇税制について」などと少し堅いイメージがありますが、「可愛い子にはゴフをさせよ」といったタイトルで、ちょっとぶざつ内容でした(笑) もちろん税金に関する話も大事だとは思いますが、私のコラムでは、

ほとんど「経営に関すること」や「後継者としての気づき」をテーマにしてみました。

すると思いのほか反響を頂いて、「こういうネタは評判が良いのだな」「これはウケが悪かったな」と、数々の小さな成功事例と失敗事例を重ねることができました。そこで「こういうことでお苦さんも悩んでいるのかな」「こういうサービス

を欲しているのかな」と、いろいろな気づきを得たわけです。さらに、その気づきを基に新しいチャレンジ、検証を積み重ねていきました。

ただ、失敗するか成功するかはチャレンジしてみないと分かりません。そして、チャレンジをするためには、ある程度の裁量や権限が必要だと思うのです。

## 「裁量」と「権限」が与えられたからこそ取り組めたこと

ニュースレターに  
コラム掲載開始！



採用強化



YouTubeもスタート！



公式LINEにて無料で給付金・助成金・補助金の情報を発信！2022年5月下旬には登録者数1600名以上に！



NEW

最近では・・・

- ・採用・企画・広報のご支援
- ・後継者・幹部向け勉強会などもご要望に応じてスタート！

## 新しいことへのチャレンジには「立場」も必要

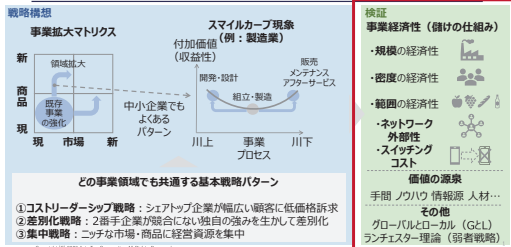
後継者がチャレンジを重ねて気づきを得るためには、裁量と権限の他にもう1つ必要なものがあります。それが立場です。「自分が全部決めていくのだ」という立場になってこそ、「次はこれやってみよう」という思考に繋がると思うのです。トップの指示を受ける立場や、承認を得なくてはいけない立場のままで、新しいチャレンジが他力に感じってしまうこともあります。そういう意味で裁量、権限に加えて立場というものが必要だと思います。

私も未経験があって、大きなことでも小さなことでも積極的にチャレンジをするようになったの

は「自分が全部決めていくのだ」という立場を自覚してからでした。チャレンジをしていく中で、大きな成功・大きな失敗、小さな成功・小さな失敗を経て、「こういうことが求められているのだな」「こうすれば上手くいくのだな」という気づきを得ると共に、自分の中のいろいろな仮説を検証することができました。そしてそれが「うちの存在意義はこういうところだな」「税金も大事だけどそれに囚われ過ぎず、事業者の幸福を考えてできることが沢山あるな」という方針に繋がっていったのです。

## ▼セミナー資料より抜粋

## 中小企業が使いやすい戦略フレームワーク（私見）



## チャレンジする後継者を後押しする”理論”

また、チャレンジできる環境にプラスして必要だと思うものは、「気づきを裏付ける理論」です。いわゆる「お勉強」はしたほうが良いと思います。私は前職で「事業経済性」という考え方について教わりました。

1つひとつの詳細な説明はしませんが、要は事業経済性という、いろいろなビジネスの個々の構造や勝ちパターンについての考え方で『規模の経済・密度の経済・範囲の経済・ネットワーク外部性・スイッチングコスト』といった考え方があります。例えば、会計事務所であれば「密度の経済」と「範囲の経済」がとてもよく効くと思っています。それに加えて、スイッチングコストを高めたり、顧客先同士

でネットワーク外部性を発揮したりできるとさらに良いと思います。

これは一例ですが、そういった視点を持ってチャレンジしながら、時には大きな、時には小さな成功と失敗を繰り返しているのです。そういった経験を積み重ねることで、「これはネットワーク外部性を発揮するのに役立つそうだな」とか「スイッチングコストを高めることに繋がるな」とピンとくるようになりました。このように、「産学で身につける理論」がチャレンジする後継者の気づきを後押しし、方針が固まっていくのだと思います。

## 環境づくりが出来たら任せつつ見守る

繰り返しになりますが数量と権限、そして「自分がトップとして決断する」という立場、この3つが揃っていないのに、「あの後継者は意思がなくて頼りない」と言っても、それは無理だと思っています。もちろん大前提として、後継者さんが「事業を継ぎたい」という気持ちがあるのか、組織のトップに向いているのか、という問題もあるでしょう。しかしその上で、継ぎたい意思は持っていない、数量・権限・立場がない状態であれば方針や意思は生まれません。大切なのは、そう



いった意思を持ち、方針を固めることができるような環境を整えることだと思います。そしてそれにプラスして、後継者の気づきの裏付けとなる理論が必要だと思います。理論については、アクシスグループが後継者向けセミナーを開催しますので、是非受けて頂ければと思います（笑）

そういった環境を用意した上で、先月のニュースレターにも掲載した「任せつつ見守る仕組み」が大切になってきます。「任せているけど見守っている」という状態で数量・権限・立場、そして

理論を学ぶことができる環境を用意してあげる。そうすれば後継者はチャレンジを重ねて仮説検証しながら、方針や意思を固めていってくれると思います。



new

体験談！

後継者のビジョンはどのようにつくられるのか



動画視聴はこちらから！

これまでの配信動画もご覧頂けます！



知りたいあれこれ

# Q & A

経営にまつわる様々な疑問を解決する「知りたいあれこれQ & A」  
税務や労務に関することや今話題の情報までお客様に役立つ情報を発信していきます。

## 今月の講座

「2022年のIT導入補助金はパソコンも対象に！」（吉田 康晃）

# Q & A

No.34

## 2022年のIT補助金はパソコンも対象に！

昨年までは、パソコンやタブレット等のハードウェアは対象外だったIT導入補助金。しかし、新たに追加された「デジタル化基盤導入枠」ではハードウェアにかかる購入費用も補助対象となりました！今回はIT補助金について詳しくお伝えします！

### Q. IT補助金とはどのような補助金？

**A.** IT導入補助金とは、中小企業がソフトウェアなどを購入して、会社の業務効率化や生産性を向上させようとする時に、国から補助される制度です。

昨年までの制度では、ソフトウェア等の導入費用が対象で、パソコンやタブレット等のハードウェアは対象外とされていました。しかし、今回から新しく追加されたデジタル化基盤導入枠（デジタル化基盤導入類型）では、ソフトウェアだけでなく、パソコンやタブレットといったハードウェアにかかる購入費用も補助対象となりました。これは2022年度のIT導入補助金の目的として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、生産向上に取り組む中小企業等を支援するために、インボイス制度導入を見据えつつ、企業間取引のデジタル化を強力に推進することが掲げられているためです。

### Q. ハードウェアに対していくら補助金がもらえるの？

**A.** パソコンやタブレットは、補助上限額10万円（補助率1/2以内）、レジや券売機等については補助上限額20万円（補助率1/2以内）で支援が行われます。

### Q. どんなソフトウェアが対象になる？

**A.** デジタル化基盤導入枠の対象ITツールはあらかじめ、事務局に登録されたものが対象になります。また、その種類は、会計ソフト・受発注ソフト・決済ソフト・ECソフトと

それに付随するクラウド利用料やPC・タブレット、レジ・券売機等のハードウェアの導入費用に対象が限定されています。これ以外の自社の課題に合ったITツールを導入したい場合はソフトウェアのみが対象の「通常枠」を選択することとなります。

### Q. ハードウェアだけを購入して補助金をもらうことはできる？

**A.** ハードウェアの購入費用が補助対象となるのは、前述の補助対象経費となるソフトウェアの導入と併せて購入する場合に限られます。

### Q. IT補助金を受けるには、どのような手続きが必要？

**A.** まずは国に登録された「IT導入支援事業者」と導入したい「ITツール」を選定します。その後、IT導入支援事業者のサポートを受けながら、共同で交付申請を進めていくこととなります。

この「IT導入支援事業者」は、IT導入補助金2022のホームページにて公開予定されています。顧客管理ツールなどの業務効率化や生産性向上や、インボイス制度への対策として、IT化・デジタル化推進をお考えの方は、IT導入補助金を検討されてみてはいかがでしょうか？

まずは、インターネットで「IT導入補助金」で検索してIT導入補助金2022のホームページをご覧ください。また、お近くのよろず支援拠点、商工会議所等にご相談いただくことをお勧めいたします。アクセスでもご購入を承っておりますので、是非、LINE公式アカウントより気軽にご相談ください。

▼私が紹介しました！▼



吉田 康晃

顧客サービス課 1課 スタッフ

前職は他の税理士事務所勤務。アクセスでは前職の経験を活かし、会計や税務申告等の業務を行っている。まだまだ学ぶべきことは多いが、経営者としてお客様のお役に立てるよう、日々頑張中。

お問い合わせはこちらまで

アクセスグループ

088-631-8119

登録者数 1600人

前月配信

# LINEピックアップ



2022  
5/7

【顧問先のお客様】事業復活支援金申込受付期間について

事業復活支援金申請ご支援について、沢山のお申込みありがとございます！

以前から告知しておりました通り、顧問先のお客様は5/10(火)が申込み受付の締切日となっております。申請ご支援を希望されるお客様は、5/10(火) 23:59 までにお申込みください。

既にお申込みを頂いているお客様は、申請完了まで引き続きよろしくお願い致します。



2022  
5/11

【事業復活支援金 申請ご支援】申込受付終了致しました

この度は、弊社の事業復活支援金申請ご支援をご利用頂き誠にありがとうございました。

以前から告知しておりました通り、5/10(火)をもちまして、お申込み受付を終了させて頂きました。

画が設置している申請サポート会場では引き続きサポートが受けられますので、是非そちらをご利用ください。  
<https://jigyuu-fukukatsu.go.jp/support/index.html>

既にお申込みを頂いており、必要書類のやり取りをさせて頂いているお客様につきましては、申請完了まで引き続きよろしくお願い致します。

今後も、皆様のお役に立つような情報発信を続けて参りますので、ぜひ今後とも配信内容をチェックして頂ければ幸いです！



2022  
5/13

【建設業の事業者向け】2022年1月決算法人の決算変更届 締切について

ご存知のことかと存じますが、建設業許可を受けている全ての事業者様は、毎年、事業年度終了後 4ヵ月以内に「決算変更届出書」を管轄の行政庁に提出することが義務付けられています。

今年度は、2022年1月決算法人様の「決算変更届出書」の提出締切です。最近、「決算変更届出書」提出しなかったため、建設業許可の更新時に更新届出について全て提出するよう指摘されたという情報も入っております。

何卒ご留意くださいますよう、よろしくお願い致します。

なお、行政書士法人アクシスでは1件2万円(税別)で決算変更届の作成を承っております。ご用命の際は、担当者までお気軽にお申し付けください。



2022  
5/21

【事業復活支援金】申請期限が延長されました！

事業復活支援金の申請期限が6月17日(金)まで延長されました。

申請や事前確認のために必要な「申請」の発行は5/31(火)まで、申請前に必要な「登録確認機関による事前確認」の実施は6/14(火)までとなります。

申請期限及び事前確認期間に関するお知らせ | 事業復活支援金 (jigyuu-fukukatsu.go.jp)

当社での申請ご支援はお申込み受付を終了しておりますが、画が設置している申請サポート会場では引き続きサポートが受けられますので、是非、そちらをご利用ください。  
<https://jigyuu-fukukatsu.go.jp/support/index.html>  
※事前確認の実施は6/14(火)までとなります。

また、既にお申込みを頂いており、必要書類のやり取りをさせて頂いているお客様につきましては、申請完了まで引き続きよろしくお願い致します。



2022  
5/24

2022年度最新版！補助金・助成金セミナー開催！

2022年6月に、アクシスグループ主催の補助金・助成金セミナーを開催します！(zoomでのオンラインセミナーとなります)どなたでもご参加可能ですので、是非お申込みください！  
<https://m-staff.com/seminar/detail/6891/>

【セミナー開催】

本セミナーを受講し、補助金・助成金を有効活用してみませんか？

- ①使いやすい補助金・助成金ご紹介！
- ②経営に関わる補助金・助成金を一度に知ることができる！
- ③申請にあたっての優先順位、注意すべき点、勘どころなどをお伝え！

【開催日時】

2022年6月13日(月)・22日(水) 14:00～16:00  
※2日間とも同じ内容です。ご都合の良い日時をお選びください。

【お申込み方法】

下記の申込みフォームより、お申込みください。本セミナー前日に、zoomの参加URLをお送りさせていただきます。  
<https://forms.gle/Jq4t89OVvwdKOM56>



LINE ID @928wbhhi

アクシスグループ

税理士法人アクシス

社会保険労務士法人アクシス

行政書士法人アクシス

川人広平公認会計士事務所

株式会社徳島経理代行センター

株式会社高松経理代行センター

株式会社マネジメント・スタッフ

有限会社エムエスサービス

【本社】

〒770-0051

徳島県徳島市北島町  
1丁目3-3

TEL:088-631-8119

FAX:088-632-6543

【吉野川支店】

〒776-0005

吉野川市嶋島町喜来字吉北  
485番地1

TEL:0883-26-0182

FAX:0883-26-0187

【高松支店】

〒760-0079

香川県高松市松崎町  
1050-27

TEL:087-814-5875

FAX:087-814-5876

【東京支店】

〒140-0002

東京都品川区東品川  
5丁目9番6 1109号

axis news デザイン・制作編集



佐藤 英優

企画部 スタッフ

美術大学を卒業後、地域プロモーション事業を行う会社に就職し、記事の編集やデザインを担当。その後、母校の大学に3年間勤める。2019年の春に当社に入社し、企画やデザイン制作を担当している。